

2025 年 8 月 ホームドクター2025 掲載

医療ガイド 函館中央病院



急性期・周産期医療の役割を担う チーム医療で安心の医療を提供

1930年の開設以来90年以上にわたり道南地域の基幹病院としての役割を担っている。総合周産期母子医療センター、北海道小児地域医療センター、北海道がん診療連携指定病院、小児がん連携病院（類型3）、臨床研修指定病院、日本医療機能評価機構認定病院



- ① 高度医療機器の導入や更新も積極的に行っている
- ② 院内にはローソンやドールコービーがありアメニティも充実
- ③ 低出生体重児等の受け入れを担っている NICU・GCU

函館中央病院は、1930年の開院以来、病める人の立場に立ち、かけがいのない命と健康を第一に尊重する。心ある医療を基本理念とし、地域とともに歩み続け、2025年に95周年を迎えた。十数人の職員で始まった小規模な病院は、現在では27の診療科と100人を超える医師が在籍し、1000人を超えるスタッフを擁して幅広い疾患への対応が可能な体制を整え、地域の中核医療機関へと発展してきた。

特に小児・周産期医療においては、道南地域で唯一の「総合周産期母子医療センター」として、24時間体制でハイリスク分娩や低出生体重児の受け入れを一手に担っている。

充実した診療体制の中でも整形外科は道内でも最大規模の診療体制を有し、脊椎疾患や四肢外傷、骨粗しょう症、小児整形を含む幅広い分野で高度な医療を提供。地

域にいながらにして、都市部と同等水準の専門医療を受けられる体制を有している。

また、北海道大学との連携による専門医の派遣や、高度医療機器の導入を通じて、地域完結型の質の高い医療体制の構築にも注力。市内2次救急輪番病院として救急医療体制も充実している。

がん診療については、北海道がん診療連携指定病院でもあり、腫瘍内科医を配置し、相談支援センターによる患者支援体制も整備されている。

さらに「臨床・教育・研究」の3本柱を掲げ、次世代の医療人育成にも力を入れており、職員の働きやすい環境整備も推進している。「医療を支えるのは「人」です。職員が誇りと安心を持って働ける環境を整えることで、医療の質をさらに高め、地域の皆さまへより良い医療を届けていきたい」と、金山雅弘院長は話す。

内科・糖尿病/内分泌内科・消化器内科・腫瘍内科・緩和ケア科・神経内科・循環器内科・小児科・外科・整形外科・消化器外科・乳癌外科・肛門外科・形成外科・脳神経外科・心臓血管外科・皮膚科・泌尿器科・産婦人科・眼科・耳鼻咽喉科・精神科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・歯科口腔外科・病理診断科

社会福祉法人 函館厚生院

函館中央病院

☎0138-52-1231

函館市本町33-2

<http://www.chubyu.com/>

診療時間／
月～金 9:00～11:30 14:00～16:00
土曜 9:00～11:30
※各科・曜日により異なるため要事前確認
休診日／日曜・祝日・年末年始
最寄りアクセス／
市電中央病院停留場から徒歩1分



病院長
金山 雅弘氏

1990年北海道大学医学部卒業。99年函館中央病院勤務。25年6月1日より現職。日本整形外科学会専門医。認定脊椎脊髄病医。日本脊椎脊髄病学会脊椎脊髄外科指導医。医学博士